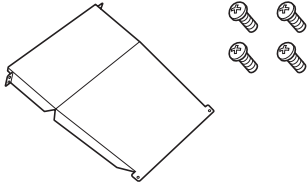
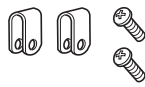
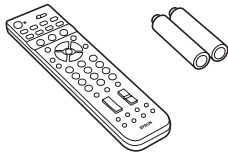
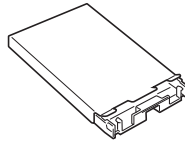
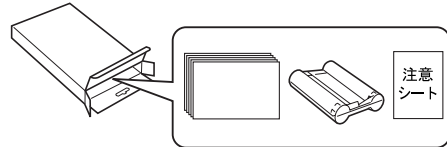
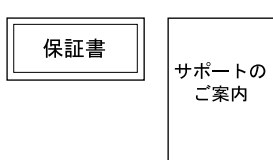
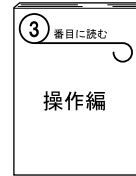
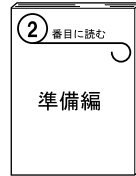
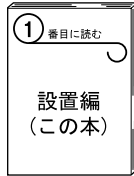
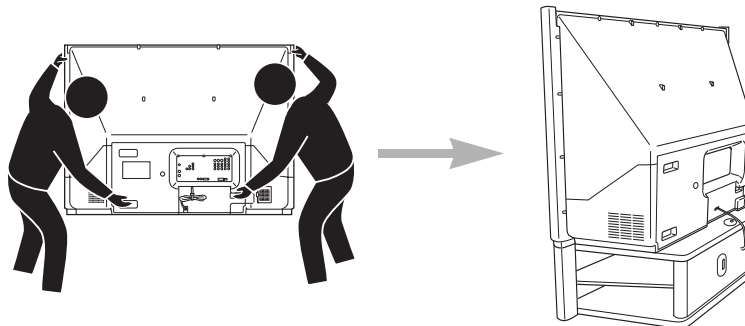
番目に読む

設置編

箱を開けたら、まずこの本をお読みください。
使用上のご注意など、重要な情報を記しています。

同梱品の確認

本機の他に、下記のものが同梱されていることを確認します。
万一、不足や不良品がありましたら、お手数ですがエプソンダイレクト 液晶プロジェクションテレビ サポートセンターまでご連絡ください。

本機をラックにのせる

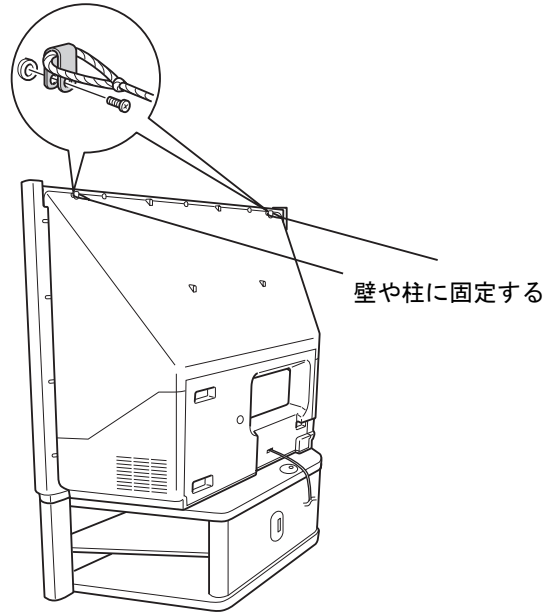
本機を持ち運びするときは、テレビ画面の上部枠と、背面に手をかけてください。

転倒防止のため、必ずオプションの専用ラックをお使いください。
専用ラックは本機との固定ができます。
本機と専用ラックの固定方法は専用ラックの取扱説明書をご覧ください。

⚠注意

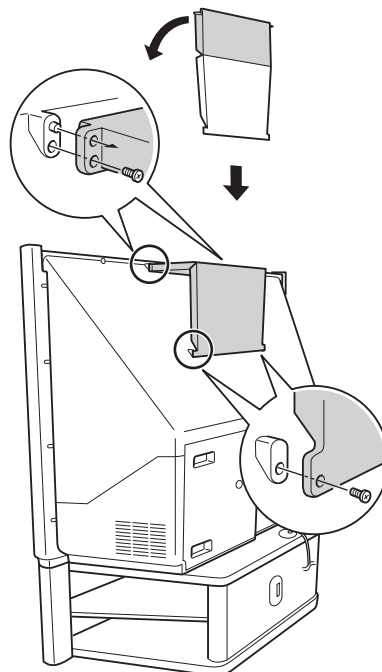
- 必ず 2 人以上で持ち上げてください。正しい持ち方をしなかったり、1 人で運んだりすると、本機が倒れて、けがの原因になります。
- 水平で安定した場所に据え付けてください。不安定な場所に据え付けると、本機が倒れて、けがの原因になります。
- 本機をラックに載せるときは、本機の一部がラック上面からはみ出したり、前後左右いずれかに片寄った乗せ方をしないでください。本機が倒れて、けがの原因になります。

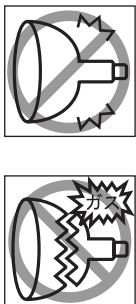
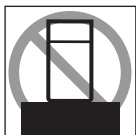
C77313001

転倒防止の処置をする

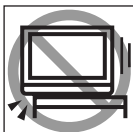
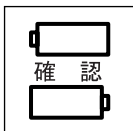
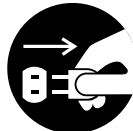
本機を設置するときは、市販のワイヤーなどを使用し壁などに本機を固定して、転倒防止の処置をしてください。

⚠注意 転倒防止の処置は必ずしてください。しなかった場合、地震などで本機が倒れて、けがの原因になります。

スタンドを取り付ける

スタンドは下図のように取り付けてください。

⚠警告
- 本機およびスタンドの上に、花瓶など水の入った容器、薬品などを置かないでください。
  こぼれて中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

⚠注意
- スタンドの耐荷重は 5Kg 以下です。これ以上の重いものを置かないでください。重さに耐えきれずに、スタンドが壊れる可能性があり、本機の故障やけがの原因になります。
- スタンドにはスタンドより大きいものを置いたり、物を積み重ねて置いたりしないでください。
  落下して破損やけがの原因になります。

安全上のご注意

取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。
その表示と意味は次のとおりです。内容を良くご理解いただいた上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠警告

■次のような異常のときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、エプソンダイレクト 液晶プロジェクションテレビ サポートセンターにご相談ください。

- 煙が出ている、変な臭い、変な音がする。
- 本機内部に水や異物が入った。
- 本機を落とした、破損した。

そのまま使用を続けると、火災・感電の原因になります。
お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

■サービスマン以外の方は、取扱説明書で指示している場合を除き、本機のケースを開けないでください。本機の分解・改造は、絶対にしないでください。

内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因になります。

■雷が鳴り出したら、本機の接続およびアンテナ端子への接続作業を中止してください。電源プラグには触れないでください。

誘導雷で発生する高電圧によって、感電の原因になります。

■電源プラグの取り扱いには注意してください。

取り扱いを誤ると、火災・感電の原因になります。

取り扱うときは、次の点を守ってください。

- たこ足配線はしない。
- 電源プラグは、ほこりなどの異物が付着したまま差し込まない。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。
- 電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らない。
  必ず、プラグ本体を持って抜く。

■破損した電源ケーブルは、使用しないでください。

火災・感電の原因になります。

取り扱うときは、次の点を守ってください。

- 電源ケーブルを加工しない。
- 電源ケーブルの上に重いものを載せない。
- 本機とラックの間に電源ケーブルをはさまない。
- ラックの足などで電源ケーブルを踏まない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電熱器の近くに配線しない。
- 電源ケーブルが破損したら、エプソンダイレクト 液晶プロジェクションテレビ サポートセンターにご相談ください。

■交流 100V の電源電圧だけを使用してください。

交流 100V 以外を使用すると、火災・感電の原因になります。

■本機を移動させるときは、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ接続ケーブルなどのすべての配線をはずしたことを確認してから行ってください。

電源が入っていたり、配線がつながっていたりすると、火災・感電・けがの原因になります。

■本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。水銀ランプは、大きな音を伴って破裂することがあります。次のことを守って安全にお使いください。

以下の点を守らないと、けがや中毒を起こす原因となります。

- ランプに衝撃や傷を与えない。
- ランプ交換時期を超えて使用しない。
  交換時期を超えると、破裂する可能性が一段と高まります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、すみやかに新しいランプと交換してください。
- ランプが破裂した際は、破裂時に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入れないように注意するとともに、すみやかに部屋の換気を行う。
  水銀ランプ内部のガスには水銀が含まれています。
- ランプが破裂した際に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入れないようにするために、本機を使用中は、絶対に本機に顔を近づけない。
- ランプが破裂し、新しいランプと交換する場合は、お買い上げのエプソンダイレクト 液晶プロジェクションテレビ サポートセンターに交換を依頼する。
  ランプが破裂した後は、本機内部にガラス破片が散乱している可能性があります。
  万一、ランプ破裂時にガスを吸い込んだり、目や口にガスやガラス破片が入ったり、あるいは具合が悪くなったりした場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

■本機およびスタンドの上に、花瓶など水の入った容器、薬品などを置かないでください。

こぼれて、中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

■本機の吸気口・排気口から、金属類、燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。

火災・感電の原因になります。

■本機の吸気口・排気口をふさがないでください。

内部に熱がこもり、火災の原因になります。

■本機は日本国内専用です。

電圧の違いや環境の違いにより、国外で使用すると火災・感電の原因になります。

他国には独自の安全規格が定められており、本機は適合していません。

■本機を長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをさしたままにすると、火災・感電の原因になります。

⚠ 注意

	■アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、エプソンダイレクト液晶プロジェクションテレビ サポートセンターにご相談ください。 送配電線から離れた場所に設置してください。 アンテナが倒れると、感電の原因になります。
	■温度が高すぎる・低すぎる所では使用・保管しないでください。急激な温度変化は避けてください。 本機に悪影響を与え、火災・故障の原因になります。 取扱説明書指定の温度範囲を守って使用・保管してください。
	■本機を設置するときは、市販のワイヤーなどを使用し壁などに本機を固定して、転倒防止の処置をしてください。 転倒防止の処置をしないと、本機が倒れて、けがの原因になります。
	■水平で安定した場所に据え付けてください。 不安定な場所に据え付けると、本機が倒れて、けがの原因になります。
	■振動のある所に置かないでください。 本機が倒れて、けがの原因になります。
	■本機を持ち上げるときは、テレビ画面の上部枠と、背面にある切り欠き部分に手をかけてください。指を挟まないようにしてください。 ■必ず 2 人以上で持ち上げてください。 正しい持ち方をしなかったり、1 人で運んだりすると、本機が倒れて、けがの原因になります。
	■すべてのボルトやネジ類は、所定の場所に確実に締め付けてください。 間違った組み立て方をすると、けがの原因になります。
	■本機の上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。 本機が倒れて、けがの原因になります。
	■本機のスタンドの上には耐荷重以上の重いものを置かないでください。 本機が壊れたり、倒れたりして、けがや故障の原因になります。

■湿気やほこりの多い所・調理台や加湿器のそばなど、油煙・湯気が当たるような所に設置しないでください。

火災・感電の原因になります。

■ラックごと移動しないでください。

本機が倒れて、けがの原因になります。

■本機をラックに載せるときは、本機の一部がラック上面からはみ出したり、前後左右いずれかに片寄った載せ方をしないでください。

本機が倒れて、けがの原因になります。

■ランプを取り出す場合は、絶対に使用直後には取り出さずランプ本体が十分冷えるまでお待ちください。ランプが十分冷えるには電源を切った後、約 30 分必要です。

ランプの熱で、やけど・けがの原因になります。

■乾電池の使用方法に注意してください。

使用方法を誤ると、電池の破裂・液もれにより、製品の腐食・火災・けがの原因になります。

使用するときは、次の点を守ってください。

- 種類の違う電池、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 指定の電池以外は使用しない。
- 極性（＋、－）を正しく入れる。
- 電池から液がもれた場合は、もれた液を布などで拭き取り、新しい電池と交換する。
- もれた液が手などに付着した場合は、すぐに水で洗い流す。
- 交換時期がきたら、電池をすぐに取り出す。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出す。
- 電池は加熱したり、火や水の中に投げ込んだりしない。
- 乾電池を廃棄するときは、その地域の回収ルールに従う。

■お手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをさしたままお手入れすると、感電の原因になります。

使用上のご注意

■高圧電線や磁気を発生するものの近くには設置しないでください。

本機が正しく動作しないことがあります。

■製品を設置の際および使用中は、電源ケーブルのプラグが、コンセントから容易に抜き差しできるようにしてください。

おやすみになるときやお出かけになるときは、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いて電源を切ることをおすすめします。

■美しい画像でお楽しみいただくために、アンテナを定期的に点検・交換してください。

特に、煤煙が多い所、潮風にさらされる所などでは、アンテナが早く痛んで映りが悪くなります。
アンテナの点検はエプソンダイレクト 液晶プロジェクションテレビ サポートセンターにご相談ください。

■お手入れ方法に注意してください。

お手入れ方法を誤ると、変質したり、塗装がはげたりする原因になります。

お手入れするときは、次の点を守ってください。

[本機の外側のお手入れ]
- ベンジン、シンナーなどで拭かない。
- 殺虫剤などの揮発性のものをかけない。
- ゴム、ビニール製品などを長時間接触させたままにしない。

[本機の外側・操作パネルのお手入れ]
- 汚れは柔らかい布で軽く拭き取る。
- 落ちにくい汚れは、水に薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、乾いた布で軽く拭く。
- アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、カーワックス類などで拭かない。

[画面のお手入れ]
- ほこりは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取る。
- 表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしない。
- 水拭きをしない。
- アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、カーワックス類などで拭かない。

■本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使用されています。

輸送するときは、衝撃による故障防止のため、次のように取り扱ってください。
- 本機に衝撃が伝わらないように本機の周囲を緩衝材などで保護し、堅固なダンボールなどでおおって精密機器と指定の上、輸送してください。
- 輸送は、精密機器輸送が可能な宅配業者に精密機器であることを告げ、依頼してください。

お客様による輸送で発生した故障に関する保証はいっさいできかねますので、ご了承ください。

■映像を映しているときに、点灯したままの点（ドット）や消灯したままの点が現れることがあります。

液晶パネルの特性で起きるもので、故障ではありません。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が見えたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。また、すじ状に色のむらや明るさのむらが見えることもあります。

■周囲を蛍光灯くらいの明るさ（1000ルクス）にしてください。
■画面から2mほど離れてご覧ください。
■1時間に10分程度の休憩をとってください。

■本機の故障またはその使用上生じた直接または間接の損害につきましては当社では一切責任を負いません。
■本機がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または当社および当社指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
■当社純正品および、当社品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。

■製品の回収・再資源化について

本製品は、ブラウン管式テレビではありませんので、特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）対象外製品です。

本製品を廃棄する場合は、以下の方法により適正な処理をしていただきますようお願いいたします。

家庭系：「一般廃棄物」として各地方自治体が指定する方法に従ってください。
事業系：「産業廃棄物」として適正な処理を行ってください。

家電リサイクル法の対象製品（特定家庭用機器）には、次の4品目が規定されています。
[1] エアコン
[2] テレビジョン受信機（ブラウン管式のものに限る。）
[3] 電気冷蔵庫および電気冷凍庫
[4] 電気洗濯機

※当社の「Livingstation」は液晶プロジェクション技術〔光学技術・画像処理技術および基幹デバイスとなる高温ポリシリコン（HTPS）液晶パネル技術〕を用いた「液晶プロジェクションテレビ」であり、「ブラウン管式」には該当いたしません。

エプソンダイレクト株式会社　本社／〒399-8703　長野県松本市芳川村井町1059番地
セイコーエプソン株式会社　本社／〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5

XX. XX-XXX. XX(XX)